

2012年5月26日

ザバス杯第46回全日本リトルリーグ野球選手権大会

大会要項

- 大会趣旨 本大会は少年少女たちの野球競技の普及発展と技術力及び競技のマナーの向上を目的として実施する。
全国12連盟の大会予選を経て勝ち上がったリーグによる全国大会であり、栄光に輝いたリーグには日本を代表するリーグとして米国で開催される世界選手権への出場権が与えられる。さらに、文部科学省の後援を頂き、出場する選手に最高の名誉と誇りを持たせると共に、全国のリトルリーグ選手と友情の輪を広げる。
- 名称 ザバス杯第46回全日本リトルリーグ野球選手権大会
- 主催 公益財団法人 日本リトルリーグ野球協会
- 主管 リトルリーグ東京連盟
- 後援 三井物産、産経新聞、サンケイスポーツ、フジテレビジョン
文部科学省、江戸川区
- 特別協賛 株式会社 明治
- 協力 ミズノ株式会社、三井広報委員会、ぺんてる株式会社
- 会期 2012年6月30日(土) 予備日7月1日(日) 1、2回戦
7月7日(土) 予備日7月8日(日) 準決勝、決勝
- 会場 東京都江戸川区球場(開、閉会式、決勝戦)
臨海球技場第1、同第2
- 出場リーグ 北海道、東北、信越、北関東、東関東、東京、神奈川、東海、
関西、中国、四国、九州、以上12連盟の各優勝リーグに加えて、
東北、東京、東海、関西の4連盟から各1リーグの合計16リーグとする。

- 参加 資格 参加リーグと参加選手は2012年度トーナメント大会参加資格規定に適合したものに限る。
(注) リトルリーグ年齢 12歳と11歳
生年月日 1999年5月1日から2001年4月30日まで
- 試合 規則 2012年リトルリーグ・トーナメントルール並びに本大会特ルールにより、トーナメント方式(勝ち抜き戦)で行う。
優勝リーグは日本代表として2012年8月、アメリカで開催されるワールドシリーズ(世界大会)への出場権を得る。
- 登録 選手 リーグの構成は選手14名、監督1名、コーチ2名の計17名とし、いずれも所定の登録書に記載して、公益財団法人日本リトルリーグ野球協会(以下日本協会)及び主管連盟の承認を受けたものに限る。
- 審 判 審判員は主管連盟から、必要に応じて各連盟理事長宛に、派遣依頼をする。各連盟理事長は、自連盟審判部長と協議して派遣する審判員を、召集し主管連盟に通知する。
- 費 用 登録した17名に対しては、日本協会で承認された基準により宿泊費を支給する。
なお、北海道、四国、九州の代表リーグには規定の旅費(JR片道運賃分)を補助する。また、準決勝進出の4リーグには旅費、宿泊費を支給する。
請求には所属連盟の照査を必要とする。
- 表彰 規定 表彰は下記の各項を授与する。
1 優勝リーグには賞状、優勝旗、優勝杯、金メダル、記念ボール
2 準優勝リーグには賞状、準優勝杯、銀メダル、記念ボール
3 3位リーグ(2リーグ)には賞状、トロフィー、銅メダル
記念ボール
4 その他のリーグには賞状
5 参加16リーグには参加メダル、参加記念品(贈呈)
(注) 優勝旗、優勝杯、準優勝杯は持ち回りとし、翌年返還の際にレプリカを贈る。

- 応 援 リトルリーグベースボール憲章の精神にのっとり、リトルリーグにふさわしくない内容のものは禁止する。
- リーグ管理 参加リーグは、必ず会長または会長を代行する責任者（監督、コーチ以外）が引率し、大会期間中、選手のすべての行動およびリーグ関係者の応援等について全責任を持ち、リーグの管理をしなければならない。
- 健康 管理 医師の健康証明書によって健康が保証された選手でも、本大会に参加してから疾病等の理由で大会実行委員会がその選手の試合出場を不相当と判断した場合は出場できない。前記のような選手が多発してチームが構成できない場合は、その試合を中止して相手チームに勝利を与える。
- 傷害 処置 主催者は大会参加の選手、指導者に対する傷害保険に加入する。大会中、不慮の負傷疾病等に対して、主催者は応急の手当てを施す。また、役員および選手は、健康保険証（コピー）を必ず持参しなければならない。
- そ の 他 大会中、不足の事態が発生したときは主催者と当該者の間で速やかに措置するものとする。
- 連 絡 先 本大会に関することで不明の点があれば以下にご連絡下さい。

全日本選手権担当	美濃谷（みのたに）満興
美濃谷事務所	03-3632-0568
美濃谷携帯	090-3576-2769
日本協会事務局	03-6267-0170

以上